

宮 城 県

宮 城 県 退 職 校 長 会

結成 昭和40年10月30日

1 現在までの歩み

昭和40年10月30日「宮城教育親和会」として会員187名で結成され、全国連合退職校長会に加入した。その後、昭和44年、46年、48年と4つの支部が結成され、昭和48年「宮城県退職校長会」と名称を改正し、令和7年度には創立60周年を迎える。現在は、14支部、2,053名の会員数である。



伊豆沼「飛翔の刻」（ラムサール条約登録）

2 活動方針

- (1) 関係教育機関及び教育団体と連携し、本県教育の振興に寄与する。特に、「みやぎ教育の日」の事業推進に努める。
- (2) 関係団体と提携し、会員の福祉の増進に努める。
- (3) 本部及び各支部の連携を密にし、本会組織の強化を図るとともに会員相互の親睦を深める。
- (4) 東日本大震災に係る復興支援に努める。

3 事業並びに活動状況

- (1) 会議の開催
 - ・総会 ・副会長会 ・理事会 ・支部事務長会 ・常任理事会
- (2) 「みやぎ教育の日」の事業推進
 - ・11月教育月間 ・11月1日みやぎ教育の日推進大会（令和7年度第20回大会）
- (3) 教育団体に対する助成
 - ・宮城県及び仙台市小中学校長会への助成 ・宮城県退職校長会14支部への助成
- (4) 広報活動
 - ・会報及び通信を発行し（各年1回）、全会員及び賛助会員（現職小中学校長）に配付
- (5) 教育懇話会等の開催
 - ・宮城県教育委員会との教育懇話会 ・仙台市教育委員会との教育懇話会
 - ・現職小中学校長会との教育懇話会 ・各地区退職校長会役員との教育懇話会
 - ・新入会員との懇談会
- (6) 会員の親睦融和
 - ・懇親会の開催（総会時） ・新会員の歓迎と記念品の贈呈
 - ・賀寿会員・叙勲受章者への祝意と記念品贈呈
- (7) 東日本大震災被災者への支援
 - ・平成23・24・25年度の3年間は被災者会費免除とし平成26年度より申し出により免除
 - ・震災遺児・孤児のための「東日本大震災みやぎこども育英募金」へ寄附